

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A		
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進			作成日	H30.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	030300	総務部 資産管理課			責任者	加藤 雅美	担当者	公共施設マネジメント担当	
取組年度	H28	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	<p>公共施設等の老朽化対策の推進により、「財政負担の軽減・平準化」及び「公共施設の最適な配置」を実現するため、公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。成果指標については、「基本方針編」の数値目標※を踏まえ、公共施設の総量とする。なお、市の総人口は今後10年程度増加傾向が続くものと見通されており、「基本方針編」では、財政負担の抑制を図りつつ、必要に応じて施設の再整備や新規整備等も行いながら、行政サービス機能の確保に努めることとしている。このため、計画値については、平成26年度末時点の数値を目安として設定する。</p> <p>※計画における数値目標：建築別系施設の施設総量（延床面積）の縮減について、将来推計人口を踏まえて段階的な取組を進め、今後40年間で13%縮減することとしている。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定した。							
平成29年度	計画どおり	個別施設計画の全体計画（骨格部分）を担う個別施設再編方針の素案を作成。							
平成30年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「個別施設再編方針」を策定した。							
令和元年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
令和2年度	完了	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
成果指標	指標名	前年度末における公共施設の総量（基準年度の数値を目安に総量抑制を図る）					単位	㎡	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	
	変更計画値							0	
実績値	786,111		787,003	789,197	799,535		0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)			公共施設等の 安全性確保と 市民ニーズに 合わせた行政 サービスの提 供	同左	同左	同左	同左	

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A	
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	加藤 雅美	担当者	公共施設マネジメント担当	
	区分	取組内容・目標					
令和元年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。					
取組項目		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	公共施設マネジメント推進会議の運営	○	○	○	○		
2	モデル事業の検討・推進	○	○	○	○		
3	個別施設計画の策定		○	○	○		
4	市民向け説明会等	○	○	○	○		
5	施設情報の更新			○	○		
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設再編アクションプランについて、各施設所管課から原案の提出を受け、個別協議の実施や公共施設マネジメント推進会議における検討など、年度末の策定に向け計画どおりに事務を進めている。 施設情報の更新に向け、公共建築物保全情報システムにより収集した各施設単位の情報について、整理、確認作業を進めるとともに、対外的な発信のための形式について検討を進めている。 			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	前年度末における公共施設の総量(基準年度の数値を目安に総量抑制を図る)		計画値	単位 m ² 788,067	実績値	単位 m ² 799,535
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	<p>本年度の実績について、1年間という短期的な視点では達成できていないことになるが、公共施設等総合管理計画に基づく取組は、今後40年間を見据えた長期的な取組であり、40年間で施設総量の13%を縮減することを目標にしている。そのため、今年度は、昨年度末に策定した「個別施設再編方針」で定めた今後40年間における個々の施設の再編の方向性を具体化し、時期の見通しを整理した「個別施設再編アクションプラン」を策定したことで、目標達成に向けた取組の推進と進捗管理の基盤を整えることができた。</p>			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	<p>今後においては、個別施設再編方針並びにアクションプランの達成状況の検証を行うなどして、計画に沿って目標達成が図れるよう適切な進捗管理に努められたい。</p>			
	方向性	継続実施					

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A	
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業			作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室			責任者	加藤 雅美	担当者	営繕担当建築保全担当
取組年度	H28	～	R2					
効果	その他改善							
最終目標	公共建築物を安全で快適に利用できる状態を維持するとともに、将来的な保全工事費の把握と施設の長寿命化を図る等財政負担の平準化を目的として、建築物の用途・規模等から予防保全とすべき対象施設と部位を選定し、「中長期保全計画」を策定した上で計画的に保全工事を実施していく。あわせて「中長期保全計画」は、今後「公共施設等総合管理計画」の建築物の計画策定に反映していくもの。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	「中長期保全計画」の策定、予防保全工事を実施した。						
平成29年度	計画どおり	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事を実施した。						
平成30年度	計画どおり	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事を実施した。						
令和元年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
令和2年度	完了	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
成果指標	指標名	予防保全工事の実施件数					単位	件
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値	7	13	23	19	22		0
	変更計画値							0
実績値	12		22	18	20		0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける		計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける	

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室	責任者	加藤 雅美	担当者	営繕担当建築保全担当
	区分	取組内容・目標				
令和元年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	中長期保全計画及び保全方針等について関係部署との協議		○	○		
2	施設所管課及び財政等関係部署との調整, 次年度工事選定			○	○	
3	施設所管課へ日常・定期点検実施依頼及び結果取りまとめ		○			○
4	市有建築物現地調査及び建物情報システム入力			○	○	
5	中長期保全計画の見直し改訂版作成		○	○	○	○
6	予防保全工事の設計		○	○	○	○
7	予防保全工事の実施		○	○	○	○
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各取組項目とも計画どおりに進んでいる。 項目1, 2については, 企画財政部門及び施設所管課と協議し短期保全工事計画(案)を作成した。保全工事を効果的計画的に推進するためには, 関係部署との協力体制・合意形成が必要なため, 引き続き良好な関係づくり仕組みづくりに努めていく。 現地調査(施設状況調査)は, 経年による劣化進行を継続的に把握するために, 3年に1度は調査を実施できるよう調整する。 		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	予防保全工事の実施件数	計画値	単位 件 22	実績値	単位 件 20
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	予防保全工事については, 補助金確保の観点等から見送られた2件以外, 計画どおり実施することができた(継続事業である教育福祉会館工事3件を含む)。		
	進捗状況【活動】	計画どおり				
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント		
計画値		無				
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	引き続き, 予防保全計画に沿って予防保全工事を実施されたい。併せて, 定期的に現地調査を行いながら, 適宜, 予防保全計画に見直しにも取り組まれたい。		
	方向性	継続実施				

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A		
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画		作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31		
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課		責任者	高橋 直資	担当者	岩津圭介		
取組年度	H28	～	R2						
効果	その他改善		歳出削減						
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アミュゼ柏クリスタルホール、プラザの舞台照明、音響設備の改修 ・市民文化会館の空調設備改修工事、舞台床修繕 ・上記修繕工事を適切に履行するため、次期指定管理者への募集に対し、工事対応のための休館など一定程度の運営条件を策定する。（次期指定管理者選定時に、契約期間中の施設休館に対する歳入の減少並びに（人件費）支出抑制への対応策の提案を募集する。） 								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	次期指定管理者募集の方針を定め、老朽化等を踏まえた修繕計画を作成した。							
平成29年度	計画どおり	次期指定管理者を選定した。また、次年度の修繕に関する設計委託（アミュゼ柏）、工事予算要求を行った。							
平成30年度	計画どおり	予定どおり、柏市民文化会館の空調、大ホール舞台床、トイレ修繕、アミュゼ柏の改修設計委託を行った。							
令和元年度	実施	工事							
令和2年度	完了	文化施設利用者に対し、予防保全的改修により安定的なサービスの提供を図る							
成果指標	指標名	設計・工事進捗率					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	0	0	33	66	99	100	100	
	変更計画値		0	16	66	99	100	100	
実績値	0		16	66	99		0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)			・指定管理者募集の市側意思決定	・指定管理者事業提案(募集条件)への反映	・指定管理料の調整(人件費) ・休館期間の短縮	・指定管理料の調整(人件費) ・休館期間の短縮	後期:アミュゼ空調改修計画等への反映	

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	高橋 直資	担当者	岩津圭介
	区分	取組内容・目標				
令和元年度	実施	工事				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	アミュゼ柏空調改修工事		○	○	○	
2	アミュゼ柏舞台音響改修工事(クリスタルホール)			○	○	○
3	アミュゼ柏舞台照明設備改修工事(クリスタルホール)			○	○	○
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	概ね計画どおり進んでいるが、空調改修工事の契約時期が当初予定から遅れたため、工期がずれ込むこととなった。クリスタルホールの舞台音響・照明改修工事は順調に進み、1月中旬から3月上旬まで休館し、工事を実施する。		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	設計・工事進捗率	計画値	単位 99	%	実績値 99
	達成状況【成果】	達成	コメント	今年度予定していた工事は、全て工期どおり完了した。当初予定から遅れた空調改修工事については、空調停止期間が真冬と重なり、利用者への影響が大きかったが、指定管理者の協力を得て、ブランケットやヒーター等を用意し、丁寧な対応に努めた。音響・照明工事についても、同じクリスタルホール内で2つの工事が同時進行していたが、順調に終わることができた。		
	進捗状況【活動】	計画どおり				
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント		
計画値		無				
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	工事完了後においても、引き続き、施設の効率的な維持管理に努めたい。		
	方向性	継続実施				

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	B	
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新		作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	210400	水道部 配水課		責任者	柳本 哲也	担当者	工務担当	
取組年度	H28	～	R2					
効果	歳出削減		その他改善					
最終目標	<p>人口急増期に多数布設した管路が、今後急激に更新時期を向かえることから、法定耐用年数(40年)による更新ではなく、より実態に近い更新基準年数の70年とし年間整備量の平準化を図る。また、管路更新を効率的に実施していくために、施設の重要度を考慮した基幹管路や重要施設管路を対象をシフトする。</p> <p>その結果、計画的な更新と長寿命化によってライフサイクルコストが削減され、管路耐震化率100%を目標とする継続的な事業が可能となる。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	老朽管14.0km 重要施設管路2.3km 基幹管路0.7kmを更新した。 管路耐震化率 25.6%						
平成29年度	進んでいる	老朽管13.1km 重要施設管路4.9km 基幹管路0.7kmを更新した。 管路耐震化率 27.5%						
平成30年度	進んでいる	老朽管16.4km 重要施設管路3.0km 基幹管路0.2kmを更新した。 管路耐震化率 29.4%						
令和元年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 27.8%						
令和2年度	完了	老朽管11.2km 重要施設管路3.4km 基幹管路2.9kmを更新する。 目標管路耐震化率 29.2% アクションプランとしては終了するが当該事業は、R57年度まで継続する。						
成果指標	指標名	管路耐震化率					単位	%
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値		23.8	25.1	26.5	27.8	29.2	29.2
	実績値	22.4	25.6	27.5	29.4	30.6		0.0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額		0	0	0	0	0
		変更計画額		0	0	0	0	0
		実績額		0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)		優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B	
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	210400	水道部 配水課	責任者	柳本 哲也	担当者	工務担当	
	区分	取組内容・目標					
令和元年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 27.8%					
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	設計・積算・発注・施工監理			○	○	○	○
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	上半期分に関し、順次、設計・積算を行い、配水管改良工事11件を発注、現在施工中で順調に進捗している。 下期分についても、8件を発注する。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	管路耐震化率	計画値	単位 % 27.8	実績値	単位 % 30.6	
	達成状況【成果】	達成	コメント	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づく計画値に準じ、順調に進捗している。また、発注時期の平準化にも取り組み下半期分6件を発注し効率よく事業を行っている。			
	進捗状況【活動】	進んでいる					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	成島 正俊	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づき、引き続き事業を進め、建設コストにも注視しながら、発注時期の平準化にも注力していくこと。			
	方向性	継続実施					

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A		
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画		作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	270400	学校教育部 学校施設課		責任者	高橋 裕之	担当者	建設・計画担当	
取組年度	H29	～	R2					
効果	その他改善							
最終目標	老朽化が進んだ学校施設については、建て替えではなく改修によって対応することで、コストを抑えつつ、安全性を確保し、衛生的な管理や機能の維持を図る。併せて、学習環境の多様化に対応できる設備整備を行うことで、児童生徒の学習環境の向上を目指すとともに、学校運営がしやすく、快適に使えるよう計画的に保全し、維持管理を行う。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度								
平成29年度	遅れている	モデル校である土小学校の校舎の老朽化対策計画を策定するにあたり、ワークショップを行い、その際出された様々な意見を集約し、その内容を反映した改修工事の基本計画を策定した。また、モデル校の学校施設を検証することで、柏市の全小中学校の老朽化対策実施に繋げた。また、屋内運動場については2校の改修工事と2校の実施設計を行った。実施設計の予定は3件であったが、そのうち1件については流山市の建築審査会の開催が3月中旬であったため、完了は平成30年5月末予定である。						
平成30年度	計画どおり	土小学校校舎長寿命化改良工事設計において、教育環境長寿命化仕様について今後のモデルとすべく検討を行い、内容に反映させた。また、学校施設個別施設計画の策定を行い、今後の施設整備の方針を決定した。 屋内運動場については、3校の改修工事、昨年度からの継続であった光ヶ丘小学校を含む4校の実施設計を行った。						
令和元年度	実施	校舎長寿命改良工事のモデル校で改修工事を行う。また、屋内運動場については3校の実施設計及び3校の改修工事を行う。						
令和2年度	完了	校舎長寿命改良工事のモデル校の竣工及び1校の設計を行う。また、屋内運動場については1校の実施設計及び2校の改修工事を行う。						
成果指標	指標名	長寿命化改良した学校施設件数（工：工事、設：設計、W：ワークショップ）				単位	件	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値			工2(設3, W1)	工3(設4)	工4(設6)	工7(設6)	16
	変更計画値	0			工3(設5)	工4(設3)	工3(設2)	13
実績値			工2(設2, W1)	工3(設5)	工4(設3)			
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額		0	0	0	0	0
		変更計画額		0	0	0	0	0
		実績額		0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)			建物を長寿命化することで、整備コストを平準化する。また、予防保全に切り替える足がかりとする。	建物の長寿命化を実施し、整備費用の平準化を行うとともに、予防保全へ切り替えを行う足掛りとする。	建物の長寿命化を実施し、整備費用の平準化を行うとともに、予防保全へ切り替えを行う足掛りとする。		

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A	
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	270400	学校教育部 学校施設課	責任者	高橋 裕之	担当者	建設・計画担当	
	区分	取組内容・目標					
令和元年度	実施	校舎長寿命改良工事のモデル校で改修工事を行う。また、屋内運動場については3校の実施設計及び3校の改修工事を行う。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	校舎長寿命化改良工事			○	○	○	○
2	屋内運動場長寿命化改良設計				○	○	○
3	屋内運動場長寿命化改良工事				○	○	○
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	校舎長寿命化については、仮設校舎を建設し、引っ越しを行い、第一期工事に着手した。現在は解体工事が進行中である。屋内運動場長寿命化については、構造躯体を残し解体が完了し、屋根及び外壁の工事が進行中である。屋内運動場長寿命化設計については、現地調査が終了し、詳細設計に着手している。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	長寿命化改良した学校施設件数(工:工事, 設:設計, W:ワークショップ)		計画値	単位 件 工4(設3)	実績値	単位 件 工4(設3)
	達成状況【成果】	達成	コメント	校舎長寿命化については、今年度工事分を予定通り完了した。グラウンドに仮設校舎を設置し、学校運営をしながらの工事であったため、児童の安全を第一に学校との調整を図りながら実施した。モデル校である土小学校は、既存校舎の改修であったため、既存図面と現状の相違があり変更事項が発生した等の課題が見つかった。			
	進捗状況【活動】	計画どおり		屋内運動場長寿命化については、予定通り設計及び工事が各3件ずつ完了した。			
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	教室不足対応事業により、田中小学校建替、第三小学校及び柏の葉小学校の増築工事があり、改修工事にかかる人員を捻出するのが難しいことに加え、長寿命化以外にも事業費が必要となることから、令和2年度は屋内運動場長寿命化設計を1件、工事を2件とする。校舎長寿命化については、1校の設計及び土小の工事を予定通り実施する。		
計画値		有					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	学校施設長寿命化改良計画に沿って、設計、工事が実施できるよう鋭意取り組まれない。			
	方向性	継続実施					